

ご購入者 各位

「専門医・指導士認定試験対策問題集」 修正/正誤表について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

「専門医・指導士認定試験対策問題集」について、ご購入、発送をいたしておりますが、この度、別紙のとおり、修正/正誤表を掲載させていただきます。

ご購入を頂きました皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒本書をご訂正につき、ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

一般社団法人日本抗加齢医学会
専門医・指導士認定委員会
委員長 新村 健

専門医・指導士認定試験対策 問題集 修正/正誤表

② 基礎・遺伝子・細胞

P18 Q6 解説 a.b. カロリー制御マウスでは高値を示す。
c. 低体温のヒトが長寿であることの疫学調査がある。
(修正後)上記解説削除

P22 Q13 設問 エピジェネティクスの役割はどれか。2つ選べ。
(修正後) エピジェネティクスの直接的な役割はどれか。2つ選べ。

③ 免疫

P29 Q5 設問 免疫機能に伴う高齢者の健康について正しいのはどれか。3つ選べ。
(修正後)免疫機能の変化に伴う高齢者の健康について正しいのはどれか。3つ選べ。

③ 酸化ストレス

P32 Q2 設問 細胞内活性酸素の消去能が最も高いのはどれか。
(修正後)細胞内活性酸素の消去能が高いのはどれか。2つ選べ。
答え d
(修正後) c.d
解説 ビタミンCとビタミンEは代表的な活性酸素除去物質であるが、ビタミンCは水溶性であるため細胞内には入らず、細胞内の抗酸化にはビタミンEが働く。
(修正後)ビタミンCとビタミンEは代表的な活性酸素除去物質である。

P34 Q5 設問 酸化ストレスに対する防御機構で正しいのはどれか。2つ選べ。
解説 e. 活性酸素は細胞膜だけを特異的に障害する。
(修正後)e. 活性酸素は細胞膜だけを特異的に傷害する。

P34 Q6 設問 メラトニンについて正しいのはどれか。3つ選べ。

(修正後)本問題削除

P35 Q7 設問 不対電子をもつ分子をフリーラジカルと呼ぶが、フリーラジカルではないの
はどれか。3つ選べ。

答え b.c.d

(修正後)不対電子をもつ分子をフリーラジカルと呼ぶが、フリーラジカルはどれか。

答え d

⑥ホルモン

P52 Q 設問 メラトニンについて正しいのはどれか。3つ選べ。

解説 代謝産物である AMK も抗酸化作用を有する。

(修正後)メラトニンは抗酸化作用をもち、アンチエイジングホルモンとして重要である。

P53 Q3 設問 CRH(corticotropin-releasing hormone)について正しいのはどれか。2つ選べ。

解答肢 b. 副腎皮質を刺激する。

(修正後)b. 副腎髄質を刺激する。

解説 CRH はストレスに应答して副腎皮質ホルモンの分泌を更新させるほか、下部大腸のを亢進させ、過剰性大腸などの原因にもなっていると考えられている。

(修正後)CRH はストレスに应答して副腎髄質ホルモンの分泌を亢進させるほか、下部大腸のを亢進させ、過便性大腸などの原因にもなっていると考えられている。

P54 Q6 設問 DHEAについて正しいのはどれか。3つ選べ。

(誤) 答え a.d.e

(正) 答え b.d.e

⑦食事・栄養・サプリメント・食品

P58. Q1設問 ω -3 系多価不飽和酸を多く含む食品はどれか。3つ選べ。

解説 c. d. 多価不飽和酸だが、 ω -6 系リノール酸である。総脂肪酸に占める α -リノレン酸は 0.2%だけで、ほとんどが ω -9 オレイン酸である。

(修正後)c. 多価不飽和酸だが、 ω -6 系リノール酸である。

d. 総脂肪酸に占める α -リノレン酸は 0.2%だけで、ほとんどが ω -9 オレイン酸である。

P67 Q18 設問 糖化ストレスの抑制食事法としてただしいのはどれか。

(誤) 答え a.d

(正) 答え a

⑨生活習慣・がん・肥満

P86 Q1 設問 わが国のメタボリックシンドロームの診断基準として誤っているのはどれか。

解説 7 行目 LDL-C 40mg/dl 未満

(修正後) HDL-C 40mg/dl 未満

⑩糖尿病・内分泌・腸内細菌

P100Q1 設問 脂質について正しいのはどれか。

(誤) 答え d

(正) 答え e

P104 Q10 設問 短鎖脂肪酸はどれか。3つ選べ。

(誤) 答え a.b.e

(正) 答え a.b.d

P105 Q11 設問 短鎖脂肪酸受容体 GRP41、GRP43 について誤っているのはどれか。

解説 短鎖脂肪酸受容体 GRP41 を介して～

(修正後) 短鎖脂肪酸は受容体 GRP41 を介して～

P105 Q12 設問 メタボリックシンドロームの構成因子でないものはどれか。

(誤) 答え d

(正) 答え c

P106 Q13 設問 肥満、2 型糖尿病、メタボリックシンドロームを有する患者において、多く認められる腸内細菌の変化はどれか。

(修正後) 肥満、2 型糖尿病、メタボリックシンドロームを有する患者において、報告が多い腸内細菌の変化はどれか。

⑬血管・動脈硬化

P123 Q11 設問 血管機能評価と結果の解釈について誤っているのはどれか。2つ選べ。

解説 c.その主な原因は、血管平滑筋細胞の一酸化窒素(NO)への反応低下による。

一方、血管内皮細胞からの NO 産生は、加齢でも変化なく保たれている(誤)

⇒その主な原因は、血管内皮細胞からの NO 産生低下による。

一方、血管平滑筋細胞からの NO への反応は、加齢性変化は軽微で保たれている。(正)

(修正後) e.主な原因は、血管内皮細胞からの NO 産生低下による。一方、血管平滑筋細胞からの NO への反応は、加齢性変化は軽微で保たれている。

⑭運動器

P128 Q6 設問 骨粗鬆症について正しいのはどれか。2つ選べ。

(誤) 答え b.c

(正) 答え c.d

⑮男性医療

P135 Q6 設問 テストステロン補充療法の効果について誤っているのはどれか。

答え e

(修正後) テストステロン補充療法の効果について誤っているのはどれか。2つ選べ。

答え c.e

⑰皮膚・見た目

P150 Q9 設問 しみの光治療について誤っているのはどれか。

解説 IPL ではダウンタイムがない。

答え e

(修正後) しみの光治療について誤っているのはどれか。2つ選べ。

解説 IPL ではダウンタイムが短い。

答え a e

⑱口腔・歯科

P155 Q3 設問 歯周病について正しいのはどれか。2つ選べ。

解答肢 e TNF- α は炎症反応を活発化させるのに重要な役割を果たしているため、誤答である。

(修正後) e TNF- α は炎症反応を活発化させるのに重要な役割を果たしているため、正答である。

P156 Q4 設問 接食・嚥下について正しいのはどれか。2つ選べ。

解説 e. 食塊を食道から胃へと送り込む時期: 咽頭期: (嚥下第3相)

⑤ 食塊を食道から胃へと送り込む時期: 咽頭期(嚥下第3相)

(修正後) e. 食塊を食道から胃へと送り込む時期: 食道期: (嚥下第3相)

⑤食塊を食道から胃へと送 り込む時期: 食道期(嚥下第3相)

P156 Q5 設問 接食・嚥下に関与する神経の支配について正しいのはどれか。2つ選べ。

(誤) 解説 b.c は正解 答え b.c.

(正) 解説 c.d.は正解 答え c.d

⑲臓器別

P167 Q8 設問 高齢者の平衡障害について誤っているのはどれか。

解説 d. 潜時は加齢に伴い延長し、振幅は減少する。

(修正後)d. 刺激開始から筋電位で観察される変化までの時間(潜時)は加齢に伴い延長し、筋電位の振幅は減少する。

P172 Q16 設問 心不全入院を抑制するエビデンスがある糖尿病治療薬はどれか。

(誤) 答え b

(正) 答え c